



公立大学法人
国際教養大学

平成29年度 地域連携・貢献活動

2017年4月～2018年3月





新山小学校(由利本荘市)との交流

はじめに

国際教養大学では、平成16(2004)年4月の開学以来、教育、研究、国際貢献・地域貢献活動を3つの大学の責務として位置づけてまいりました。

これまで、図書館、言語異文化学修センター(LDIC)、カフェテリア、カレッジカフェなどの学内施設の一般開放はもちろんのこと、本学が有する教育資源を活用してイングリッシュビレッジをはじめとする教育の場の提供を推進し、地域活性化、異文化交流の促進、研修の場の提供等々、さまざまな取組を通して秋田県のみならず各地域へ新しい風を吹き込んできたと自負しております。

現代の大学には、教育および研究機能の他、社会貢献の機能が求められています。本学は秋田県に在る公立大学として市町村との提携によるお力添えをいただき、積極的な交流活動を通して、県境・国境、世代を超えた人々とのつながりを育み、同時に、県内出身学生の郷土愛、県外出身学生の秋田に対する新たな見識、そして世界各国からの留学生の異文化理解をより一層深めることに努めてきました。

具体的には「秋田から世界へ」「世界から秋田へ」という流れを実現することに努力しております。本学の日本人学生、海外からの留学生共に、忙しい勉学のかたわら、あい間をぬって県内の小中学校等との交流に励んでおり、本学学生が地域の学校等を訪問すること及び本学に地元生徒を迎えての異文化交流については年間200回以上にのぼっております。平成29(2017)年度には、留学生を含めた本学の学生たちは、知事との意見交換や農村での田植えや稲刈り体

験、摘果作業、イベントでのブース通訳等、グローバルな学修環境の中にあつて秋田のローカリティを体験させていただくなど活躍の場をいただいております。在学中に竿燈まつりに参加した留学生が、再び参加するためにわざわざ秋田に帰ってくるという微笑ましいことも見受けられました。

本学が推し進める「国際教養」教育で、学生が問題発見と改革の方法論を身につけ、大学での学びと地域社会での学びをフィードバックさせて学んでいくことは、重要な学術探究の方法ともいえます。

ここに、平成29(2017)年度の本学の地域貢献活動の状況をとりまとめましたので御一読いただければ幸いです。

これからも、地域に開かれた大学、地域と共に歩む大学として、地域のみならずとの交流活動を推し進めていきたいと考えております。みなさまの温かい御理解と御支援のほど、よろしくお願いいたします。



公立大学法人国際教養大学
理事長・学長 鈴木 典比古

目次 Contents

はじめに.....1



英語教育.....3-4

イングリッシュビレッジ	3
御所野学院中学校・高等学校との連携	3
ティーチャーズセミナー	4
英語指導力向上のための2日間集中セミナー	4
英語でプログラミング(Eigo de Programming)	4



国際交流.....5-6

県内自治体との協定等に基づく交流	5
地域の伝統行事・イベントなどへの参加	5
日本語プログラムとのコラボレーション	6
AIU-LAB(英語で理科実験)	6
・県内自治体・各種団体等との交流実績	



地域連携.....7-10

アジア地域研究連携機構(IASRC)	7
モニターツアーや農産物試食会への参加	8
各種委員への就任・講師派遣	8
県内4大学連携事業	9
国際教養大学公開講座	9
教員による地域連携活動の紹介	
・河辺中学校との交流	9
・地域の日本語教育への貢献	9
大学施設の紹介	10

各種申込方法.....裏表紙

英語教育

English Education

本学では平成16(2004)年の開学以来、全ての授業を英語で行うなど、「英語で英語を学ぶ」取組において独自のノウハウを有しています。そのノウハウを小中高等学校の教育現場等に還元できるよう取り組んでいます。



イングリッシュビレッジ

イングリッシュビレッジ (※スーパーグローバル大学創成支援事業)

イングリッシュビレッジは、中高生を対象とした2泊3日の英語研修プログラムで、本学を会場に年間15回程度開催されています。本学の学生(大学院生、学部生、留学生)が、担当教員から事前にトレーニングを受け、講師として参加生徒の指導にあたります。秋田県の生徒はもちろん、県外の学校からの参加も多く、国際教養大学というグローバルな環境で、「英語を英語で学ぶ」機会を楽しんでいただいています。本学の学生スタッフは、本プログラムの運営を通じて、自立的かつ能動的に学修する姿勢を身に付けています。

平成29年度開催実績: 12回、421名参加

主な参加校: 秋田南高等学校、秋田北高等学校、御所野学院中学校、等



内田 浩樹

専門職大学院グローバルコミュニケーション実践研究科長・専攻長 英語教育実践領域代表/教授 [日本]
外国語としての英語会話力・聴解力指導法・語彙修得

大学の地域貢献では、大学と地域社会の双方にメリットがあることが大切です。本事業では、中高生が英語コミュニケーションや異文化を学び、本学の学生が教師としてのスキルを学ぶという理想的なモデルが実現されています。



イングリッシュビレッジ

※国際教養大学は、平成26年、文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援事業」の採択を受け、「日本発ワールドクラスリベラルアーツカレッジ構想」に取り組んでいます。

御所野学院中学校・高等学校との連携

指導教員から事前にトレーニングを受けた学生が、本学と教育連携協定を結んでいる秋田市立御所野学院中学校・高等学校を定期的に訪問し、英語指導を行っています。

平成29年度実績: 御所野学院中学校7回、高等学校4回訪問



カルロス・バディング

英語集中プログラム(EAP)/助教 [アメリカ]
EAP III (上級)

本プロジェクトは、本学学生と御所野学院生徒双方にとってメリットのある活動です。学生は中高生に指導する機会を得られ、生徒は自分と同じように日本で英語を学んできた学生から英語学習のアドバイスを受けることができます。



御所野学院での英語授業

ティーチャーズセミナー (※スーパーグローバル大学創成支援事業)

秋田県内外の小中高等学校の学級担任及び英語教員を対象に、ティーチャーズセミナーを開講しています。セミナーでは、「英語で英語を教える」ことの原理解、実践的教授法、クラスマネジメントなどについてのワークショップを実施。本学がこれまで培ってきた英語教育の実践的方法論を社会に還元し、初等・中等教育の現場でグローバル人材の育成を推進することを目的とした、リカレント(学びなおし)教育としての役割を担っています。

平成29年度開催実績: 3回、100名参加



町田 智久

専門職大学院グローバルコミュニケーション実践研究科 英語教育実践領域/准教授 [日本]
外国語としての英語教授法と学習教材

ティーチャーズセミナーは、国際教養大学の教育環境をフルに活用して、参加された先生方がすぐに授業で生かせる指導スキルを中心に構成しています。先生方が自信を持って英語を指導できるようにサポートしています。



ティーチャーズセミナー

※国際教養大学は、平成26年、文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援事業」の採択を受け、「日本発ワールドクラスリベラルアーツカレッジ構想」に取り組んでいます。

英語指導力向上のための2日間集中セミナー

本学と在札幌米国総領事館の共催で、北海道・東北エリアの小中高等学校の現職英語教員を対象とする「英語指導力向上セミナー」を本学を会場に開催しました。

参加者は、新学習指導要領に対応した効果的な英語教授法について、本学専門職大学院教員の指導のもと、ワークショップ形式で学びました。

平成29年7月8日(土)~9日(日)30名参加



クリストファー・カール・ヘイル

専門職大学院グローバルコミュニケーション実践研究科 英語教育実践領域/准教授 [アメリカ]
言語、文化とアイデンティティ

首都圏で教員向け指導法セミナーを何年も開催してきましたが、私の目標は東北の先生方にもこの英語指導法セミナーに参加する機会を提供することでした。今回参加された東北の先生方は、互いに切磋琢磨し合い、大成功のセミナーとなりました。



ワークショップ

英語でプログラミング (Eigo de Programming)

文部科学省が2020年度から小学校で新たに導入するプログラミング教育に関心のある小学校教員を対象に、プログラミング教育指導への不安軽減を目指した研修会を本学を会場に行いました。

参加者は、プログラミング教育と英語教育の共通点や双方を組み合わせ合わせた授業について深く学び、実際に簡単な英語で操作できるプログラミングゲームやロボットを用いた学習を体験しました。

平成29年12月2日(土)実施



フローランド・ドメナック

基礎教育 ICTコーディネーター/准教授 [フランス]
プログラミング基礎

新しい学習指導要領に対する先生方のプレッシャーを和らげるため、英語学習にプログラミング概念を結合し、実践的な授業を新たにデザインしました。小学生の英語とコンピューター・プログラミング両方の学習を目的としており、今後は教育理解推進のため保護者用ワークショップの開催も検討しています。



英語でプログラミング

国際交流

International Exchange

190を超える海外の提携大学などから約200人の留学生が学んでいる本学キャンパスは、『世界の縮図』ともいえる多文化共生空間を形成しています。本学の多様な人材が地域の方々と交流し、地域の国際化推進に貢献しています。



由利小学校(由利本荘市)との交流

県内自治体との協定等に基づく交流

本学と国際交流に関する連携協定を結んでいる秋田県内の7市町村(八峰町、大仙市、男鹿市、由利本荘市、美郷町、仙北市、大潟村:平成30年4月現在)との間で、本学学生の派遣及び本学訪問の受入れなどの交流を活発に行っています。また、学校での交流を行った後にホームステイを体験するなど、地域社会との交流も行っています。協定を結んでいる自治体以外の学校とも、異文化交流事業や外国語活動へ留学生を派遣したり、本学訪問を通じた交流活動などを行ったりしています。

阿部 祐子 <八峰町プログラムコーディネーター>
日本語プログラム代表/教授 [日本]
異文化理解の視点から見る日本の社会と文化



八峰町との国際交流事業では、留学生8名のグループが年に10回程度八峰町を訪れ、小中学校の英語授業、地元住民との活動、ホームステイなどを通して様々な体験をしています。同じ学生が継続して参加することで、お互いの関係性が深まっていくのが特徴です。



八峰中学校(八峰町)との交流



太陽幼稚園(秋田市)でさつまいも収穫

地域の伝統行事・イベントなどへの参加

本学の所在地である秋田市雄和地区をはじめ、県内各地域の方々と伝統行事や各種イベントを通じた継続的な交流を行っています。



国際ふるさと料理交流会(大潟村)



萱ヶ沢なまはげ行事(秋田市雄和)

平成29年度主な参加行事

- 秋田市河辺岩見小平岱
田植え・稲刈り・収穫祭
- 秋田市雄和萱ヶ沢
なまはげ行事
- 大潟村国際交流協会
国際ふるさと料理交流会

日本語プログラムとのコラボレーション

留学生が日本語や日本文化を学ぶ日本語プログラムでは、地域の小学校を訪問し英語活動や給食の時間に小学生と交流したり、留学生の授業内で行う日本語活動に小中学生等を招いたりして、日本語学習と地域交流を合体させ、相乗効果を生み出しています。地域の子供たちにとっても留学生が真剣に日本語を学ぶ姿は大きな刺激になっています。

浜田 英紀

日本語プログラム/助教 [日本]
日本語科目



小学生が様々な国について留学生から直接日本語で教えてもらえる交流会を行いました。留学生は、普段あまり気に留めない自国について振り返り、どうすれば小学生にわかりやすく伝えられるか考える良い機会になりました。



八森小学校(八峰町)との交流



留学生による日本語ポスター発表会

AIU-LAB(英語で理科実験)

本学の実験室を会場に、英語での小学生向け理科実験を行いました。小学生はサポート役の留学生と交流しながら、「熱と物体」というテーマで、液体・気体・ドライアイスや3Dプリンターを用いた実験に挑戦し、英語だけではなく科学に対する関心も高める活動となっています。

アンドリュー・J・クロフツ

基礎教育/教授 [イギリス]
生物学入門、化学入門・実験



実験室での実践的な活動は、小学生が楽しく学びながら科学に目を向け、そして科学がいかにして私たちを取り巻く世界を探求し明らかにするのに関心を持っていくような機会にしています。



AIU-LAB



AIU-LAB

平成29年度県内自治体・各種団体等との交流実績

事業	延実施回数	参加学生人数	
			うち留学生延数
1.協定市町の学校等との交流(保育園・小・中学校等)	102	616	572
八峰町	15	110	105
大仙市	52	300	289
由利本荘市	25	161	146
美郷町	5	14	14
仙北市	2	12	6
大潟村	3	19	12
2.協定市町以外の学校等との交流	54	281	221
保育園・幼稚園	5	18	18
小学校	22	122	104
中学校	13	88	54
高等学校	10	40	33
他大学	4	13	12
3.上記以外の団体・地域との交流	56	409	244
合計	212	1,306	1,037

※「学生との交流」申込方法は裏表紙をご覧ください。

地域連携 Community Outreach

本学と地域の関係機関・団体との連携や、様々な学習機会の提供により、地域活性化に向けた多様な活動を展開しています。



大森山動物園モニターツアー

アジア地域研究連携機構 (Institute for Asian Studies and Regional Collaboration)

平成27年4月1日に発足したアジア地域研究連携機構(IASRC)は、アジアにおける日本、秋田という文脈において調査研究活動を展開しており、現在、そして将来直面するであろう様々な課題をグローバルな視点から捉え分析し、その成果を地域に還元していきます。

I アジア地域研究の深化

◎秋田県とロシア極東地域及び中国東北部などとの経済交流の促進に係る自治体や商工団体等の取組に参加し、特にロシアに関する政治経済情勢や日本との関係などの情報提供や助言等を行っています。



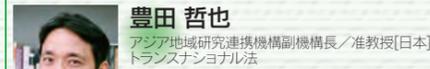
竹村 豊
アジア地域研究連携機構/特任教授[日本]
ロシア語 II・III
北東アジアの緊張の目である北朝鮮問題の公開講演会に、荒天にも関わらず、県内外より90名の熱心な参加があり、現実的な脅威と共にこの問題への関心の高さが感じられました。



公開講演会「ロシアと北朝鮮の関係」
(平成30年1月24日)

II 学術的連携の推進

◎韓国国際交流財団(Korea Foundation)の支援により、本学と提携関係にあるソウル国立大学やロシア極東連邦大学等の参加を得て、本学を会場に日・露・韓関係に関する研究発表会を開催しました。

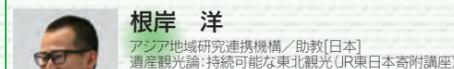


豊田 哲也
アジア地域研究連携機構副機構長/准教授[日本]
トランスナショナル法
秋田は日本海を介して朝鮮半島や極東ロシアに結ばれています。北東アジアを舞台とした学術的見地からの交流・協力も国際教養大学のシンクタンクとしての大切な役割です。



日・露・韓の域内協力関係の可能性に関する研究会
(平成30年1月23日)

◎東日本旅客鉄道(株)の寄附講座「遺産観光論：持続可能な東北観光」開講に伴い、県内の文化遺産等の活用をテーマにフィールドワークを行い、その成果報告会の開催を通じて、得られた知見を発表しました。



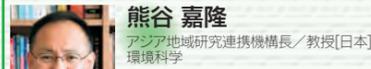
根岸 洋
アジア地域研究連携機構/助教[日本]
遺産観光論：持続可能な東北観光(JR東日本寄附講座)
本寄附講座等を通じてJR東日本秋田支社や東北観光推進機構との産学連携を深めることで、秋田の活性化に貢献する観光振興の形を学術的見地から探っていきます。



JR寄附講座の公開成果報告会
(平成29年12月9日)

III 地域貢献・政策提言の発信

秋田県における人口減少・高齢化の状況を踏まえ、“地域コミュニティがいかんして人口縮小時代を生き抜き長期的安定を実現できるか”をテーマに、ほくどう総研及びはまなす財団と共同研究を行い、その成果を発信するフォーラムを秋田市で開催しました。



熊谷 嘉隆
アジア地域研究連携機構長/教授[日本]
環境科学
人口減少・高齢化率が日本で最も高い秋田県内の地域コミュニティは、その存続が問われ始めています。本研究ではこのような状況下で地域が存続するための分析を各種ケーススタディを通して行っています。



雇用・労働問題に関する研究会
(平成29年11月17日)



外国人観光客へのアンケート調査
(秋田市内)

【観光振興に関する調査活動】

地域にある歴史的・文化的資源を観光資源化するためのモニターツアーの実施や、近年急激に増加しているクルーズ船による外国人観光客を対象としたアンケート調査などを行い、県内におけるインバウンド観光の活性化に貢献する取組を学生とともに実施しています。



増田町地域でのフィールド調査
(平成29年11月17日～19日)



秋田若者活性化委員会(ふるぶる秋田)

【学生による地域貢献プロジェクト】

学生主体の地域貢献・活性化に資する活動等を経済的にサポートする制度を設置し、支援しています。

〈平成29年度参加団体〉

秋田若者活性化委員会(ふるぶる秋田)、滝俣チーム、こらぼ・らぼ(萱ヶ沢プロジェクト)、AUWA、増田住民意識調査プロジェクト



こらぼ・らぼ(萱ヶ沢プロジェクト)

モニターツアーや農産物試食会への参加

秋田県など自治体主催の観光振興を目的としたモニターツアーや、有望な県内農産物の試食会などに本学学生が積極的に参加し、秋田の魅力発見・発信に協力しています。



モニターツアー(大館市)



モニターツアー(仙北市・大仙市)

平成29年度実績
○モニターツアー:6件
[主な参加ツアー]
大館市モニターツアー、等
○農産物試食会:2件
[主な参加試食会]
県産枝豆商品試食モニター、
大潟村米粉食品試食モニター
○県内企業視察・意見交換:3件

各種委員への就任・講師派遣

県内外の高等学校等の教育機関や自治体・各種団体からの依頼に基づき、本学の教職員を講師や委員として派遣しています。

平成29年度派遣実績:233件

主な依頼内容:秋田県教育委員会主催の英語教員研修講師、小・中学生英語弁論大会審査員、等

※「講師派遣」申込方法は裏表紙をご覧ください。

県内4大学連携事業

秋田県内の国公立4大学(秋田大学、秋田県立大学、秋田公立美術大学と本学)が協定を結び、それぞれ得意とする教育・研究分野を生かした連携のもと、地域へ貢献するための公開講座等を行っています。

【平成29年度実績】

- ・日時:平成29年10月5日(木)
- ・会場:秋田市にぎわい交流館AU(あう)
- ・参加者:127名

第1部では、公立大学協会の中田晃事務局長による『大学改革の方向性と地域貢献』と題した基調講演を行い、次いで4大学の学長がパネリストとして加わり、シンポジウムを開催しました。



国際教養大学公開講座

東北税理士会との共催により、本学グローバル・スタディズ課程の教員が二つのテーマで講義を行いました。

【平成29年度実績】・日時:平成29年9月19日(火)・会場:国際教養大学・参加者:59名

◎講座1『冷戦後の米日関係とハイブリッド戦争』

竹本 周平
グローバル・スタディズ課程/助教(日本)
国際安全保障



◎講座2『日タイ関係の過去、現在、未来』

水野 智仁
グローバル・スタディズ課程長/教授(日本)
日中関係論



教員による地域連携活動の紹介

●河辺中学校との交流

本学には、高等学校教諭一種免許状(英語)を取得するための教職課程があり、日本の教育メソッド論や教育の成り立ち等を学ぶべく、教員と学生が地域の学校を訪問しています。秋田市立河辺中学校に授業の一環で訪問したことをきっかけに平成28年春から交流が始まり、平成29年からは同中学校の「国際教養大学生と交流させることで、生徒たちの将来の選択肢を広げたい」という声により、英語授業での交流も継続的に行っています。



遠藤 秀弘
教職課程/准教授(日本)
教育制度論、英語科教育法

教育制度論の授業の一環で留学生を含む履修学生と共に河辺中学校を訪れ、英語の会話を交えながら生徒たちと昼食をとったり、英語の授業の活動に参加させていただいたりしております。今後も続けていきたいです。



河辺中学校(秋田市)との交流

●地域の日本語教育への貢献

本学専門職大学院・日本語教育実践領域では、高度な専門知識と教授技術を習得し、かつ異文化コミュニケーション能力を持つ日本語教師を養成しています。秋田には市国際交流担当が主催する秋田市日本語教室があり、外国籍定住者が週に一度日本語を学んでいます。本学院生はここで講師を務め、地域の日本語教育に貢献しています。この教室は院生にとり、自身のスキルを磨く、良き実践の場ともなっています。また院教員は秋田市教育委員会と連携し、各小中学校等に派遣される日本語指導支援サポーターの研修会講師を務めています。



嶋 ちはる
専門職大学院グローバルコミュニケーション実践研究科 日本語教育実践領域/助教(日本)
多様化する社会における日本語教育

日本語指導支援サポーターの研修会では、年少者に対する日本語教育に関する講義を行うほか、それぞれの現場の悩みや実践について話し合うディスカッションの場をもち、そのファシリテーターを務めています。



秋田市日本語教室

大学施設の紹介

▶中嶋記念図書館(L棟)

本学の図書館は、24時間365日、眠ることなく学生たちを受け入れています。一般の方も下記時間帯で利用が可能です。

【一般利用時間】

- 平日 8:30~22:00
- 土曜日 10:00~18:00
- 日曜日 10:00~22:00



◎高校生カード

対象:秋田県内高校生
利用方法:カウンターにて、高等学校の生徒証を提示してください。高校生カードを発行します。
利用時間:6:00~22:00(土曜・日曜・祝日を含む365日)



▶言語異文化学修センター(LDIC)

言語異文化学修センターは学生、教職員だけでなく一般の方にも開放された、外国語の自律学修を支援する施設です。英語をはじめ多数の外国語に関する豊富な教材と充実した設備を整えています。

【一般利用時間】

- 平日 9:00~22:00
- 土曜日 10:00~18:00
- 日曜日 10:00~22:00



祝日・長期休暇などは利用時間が変更となる場合があります。最新情報は本学ホームページにてご確認ください。

地域とともに

スポーツ振興

あきぎん
バスケットボールクリニック
ジュニア選手や指導者の方を対象にした「バスケットボールクリニック」を県内各地で開催しています。



金融経済教育

親子でチャレンジ!
あきぎんワクワク探検隊
クイズやゲームを楽しみながらお金の大切さを学んでいただきました。



(あきぎん)オリジナルキャラクター「みみより一家」

文化振興

あきぎん吹奏楽団
音楽フェスティバル
入場料の一部を社会福祉団体に寄付しています。



各種申込方法

本学教職員の派遣や学生との交流に関するご相談・お問合せは、企画課 研究・地域連携支援チームで受け付けています。

国際教養大学

企画課 研究・地域連携支援チーム

Tel. 018-886-5905(月～金 9:00～17:00)

Fax. 018-886-5910

※土・日曜日、国民の祝日、8月13日から15日、12月29日から翌年1月3日及び本学の開学記念日(4月8日)は事務を取り扱いません。

▶ 学生との交流

本学ホームページより留意事項等をあらかじめご確認いただき、申込書をダウンロードしてご記入のうえ、お問い合わせください。

○ 手続きの流れ

	1ヵ月以上前	交流当日まで	交流当日
主催者	申込 ↓	参加学生リスト受取 交流活動準備	交流活動
大学事務局	申込受付 必要事項確認	学生募集開始 ↑	参加学生確定 学生リスト送付 (活動補助)
学生		参加申込 ↓ ↑	交流活動

国際教養大学公式ホームページ

→ 地域連携

→ 学生との交流活動について

<http://web.aiu.ac.jp/exchange/international-exchange/student/>



▶ 講師派遣依頼

本学の教職員による出前講座や模擬授業などを希望される場合は、本学ホームページより申込書をダウンロードしてご記入のうえ、お問い合わせください。

国際教養大学公式ホームページ

→ お問い合わせ

→ 見学・取材等申し込み

→ 講師派遣・学生交流のお申し込み

<http://web.aiu.ac.jp/contact/inspect/>



公立大学法人

国際教養大学

Akita International University

発行日 平成30年5月

発行者 公立大学法人国際教養大学

〒010-1292 秋田県秋田市雄和椿川字奥橋岱

Tel. 018-886-5900 / Fax. 018-886-5910

